

第 190 回 材料学会岩石力学部門委員会 議事録

日 時：平成 20 年 7 月 24 日（木）13：30－17：30

場 所： 材料学会 三階大会議室

出席者（敬称略）：朝倉俊弘（委員長），石田毅，伊藤高敏（講演者），戌亥康治（Obs.），大西有三，
岡本伸一（Obs.），岸田潔，木山英郎，小山倫史，西藤潤（Obs.），清水浩之（Obs. D2），
田中荘一，辻健（講演者），中井卓巳，福家佳則（講演者），宮嶋保幸（講演者），
村田澄彦，笹尾春夫（幹事） 以上 18 名。

1. 講 演

(1) 「避難坑を有する長大トンネルの施工事例－宮津野田川道路 第 1 2 トンネル－」

鹿島建設(株) 土木管理本部 土木工務部 トンネルグループ長 福家 佳則 氏

(2) 「地震探査データからみた南海トラフ域プレート境界断層の特徴」

京都大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 地質工学分野 助教 辻 健 氏

(3) 「大深度（km 級）を対象とした現位置地殻応力評価法の課題と解決策」

東北大学 流体科学研究所 極限流研究部門 極限高圧流動研究分野 准教授 伊藤 高敏 氏

2. 委員会報告・審議

(0) 前回議事録の確認-----（資料 1 頁）

笹尾幹事より前回議事録の確認が行われた。議事録の内，部門委員会の英文HPは小山委員に作成を依頼する旨，再度の確認を行った。

(1) 学会定款施行細則－第 4 章 部門・研究委員会改正について-----（資料 3 頁）

笹尾幹事より定款改正の概要についての説明があった。

(2) 第 5 8 期通常総会・学術講演会・各種併設行事について-----（資料 7 頁）

平成 21 年 5 月 22 日～24 日に愛媛大学で開催される第 58 期学術講演会において，岩石力学部門委員会のオーガナイズドセッションを開催することとする。テーマについては委員長と幹事が案を出し，メール審議で決定することとする。

(3) 資料作成分担金について-----（資料 1 1 頁）

岩石力学部門委員会，資料作成分担金（1000 円）について，通常どおり，各委員より振り込んでいただきたい旨，笹尾幹事より説明があった。

(4) 岩の力学連合会第 30 回通常総会について-----（資料 1 3 頁）

笹尾幹事，田中委員より通常総会議案書について概略説明があった。

田中委員（電子ジャーナル委員会委員長）より積極的に電子ジャーナルに投稿願いたい旨の依頼があった。笹尾幹事より，今年度の連合会賞に多数応募願いたい旨の要望があった。

(5) 岩の力学連合会賞選考委員会委員について-----（資料 2 1 頁）

連合会賞選考委員会の材料学会選出の清木委員の任期が切れるが、再任とし、2年間の委員を委嘱することとする。なお、笹尾幹事より本人に委嘱を受けるかどうか確認することとする。

学会誌編集委員の岸田委員より、任期が長期にわたるので交代したい旨の申し出があった。これについて、後任者を岸田委員に推薦いただいた上、後任者に引き継ぐこととする。

(6) 岩石力学特集号について (再) ----- (資料23頁)

笹尾幹事より、学会誌の次回岩石力学特集号は平成22年3月号に大特集(最大90ページ)として掲載予定で、原稿締め切りは平成21年7月10日であり、多数の原稿を投稿いただきたい旨、説明があった。

(7) 公益法人制度改革について

日本材料学会の公益法人制度改革に対する取り組みの現状について、朝倉委員長(学会理事、企画事業委員会委員長)より報告があった。

(8) 次回委員会について

次回委員会は10月に見学会として開催する。日時、見学先についてはメール審議とする。

3. 懇親会 (17:30～)

カンファローで懇親会を開催した。参加人数16名。